

横浜市教育委員会 定例会会議録

- 1 日 時 平成30年4月6日（金）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 鯉淵教育長 大場委員 間野委員 長島委員 宮内委員 中村委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成 30 年 4 月 6 日（金）午前 10 時 00 分

- 1 会議録の承認

- 2 一般報告・その他報告事項
日本語支援拠点施設「ひまわり」について
横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について
横浜市立子安小学校の移転新築について

- 3 審議案件
教委第 1 号議案 横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について

- 4 報告案件
教委報第 1 号 教職員の人事に関する臨時代理報告について

- 5 その他

[開会時刻：午前10時00分]

鯉渕教育長

ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。前教育長の任期満了に伴いまして、新たに教育長として就任いたしました鯉渕と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

一言御挨拶をさせていただきます。教育長ということで、本当に大変重い重責を担うことになりまして、緊張しております。私はできれば学校現場をはじめとした現場の活動、またいらっしゃる教職員の先生方を支えていくというのが教育委員会の仕事だと思っておりますし、そのために努力したいと思っております。

また、経歴からして私は福祉分野に長くおりましたが、学校のいろいろな課題を解決する上で、横浜市が持っている福祉であるとか、また医療的な、医学的な見識、制度を利用するということが助けになる場合もあるのではないかとということも思っております。スクールソーシャルワーカーが制度化されてきているということも、そうしたことのあらわれかと思っておりますが、そうしたことも活用していけたらと思っております。

これから先、一生懸命勉強させていただきたいと思っておりますが、今の時点で課題として思っていることは、1つ目がハマ弁の喫食率を上げる必要があるということ、いじめにつきましては、500校全体の中で感度を上げていく必要があるのではないかとということ、働き方改革をしっかりと進める必要があるのではないかとことです。市役所全体としても働き方改革をしておりますが、特に教職員の皆さん方については、状況が良くないのではないかと思っておりますので、その点はしっかりやってまいりたいと思っております。

どうぞ教育委員の皆様方、またここにいらっしゃる関係者の皆様方、よろしくお願いいたします。

初めに、4月1日付で教育委員会事務局の経営責任職の異動がありましたので、事務局から紹介をいたします。

久米職員課長

職員課長の久米です。それでは、異動のあった職員の紹介をしてみたいと思います。担当理事、総務部長の伊東裕子でございます。

伊東総務部長

よろしくお願いいたします。

久米職員課長

人権健康教育部長の前田崇司でございます。

前田人権健康教育部長

よろしくお願いいたします。

久米職員課長

東部学校教育事務所長の水木尚充でございます。

水木東部学校教育事務所長

よろしくお願い致します。

久米職員課長

西部学校教育事務所長の村岡靖でございます。

村岡西部学校 教育事務所長	よろしくお願ひいたします。
久米職員課長	北部学校教育事務所長の萩原淳でございます。
萩原北部学校 教育事務所長	よろしくお願ひいたします。
久米職員課長	以上でございます。
鯉淵教育長	それでは議事日程に従ひ、会議録の承認を行います。3月2日及び3月12日の会議録の署名者は大場委員と宮内委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の修正を除き、承認してよろしいでしょうか。
各委員	<了 承>
鯉淵教育長	それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。 なお、3月16日の教育委員会臨時会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。 次に、議事日程に従ひ、教育次長から一般報告を行います。
小林教育次長	<p>【一般報告】</p> <p>1 市会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3/20 予算第一・予算第二特別委員会連合審査会（総合審査） ○3/22 予算第一特別委員会（採決） ○3/23 本会議（第6日） 予算議決、追加議案議決 <p>教育次長の小林です。それでは、報告をさせていただきます。 まず、市会関係ですが、3月20日に、予算第一・予算第二特別委員会連合審査会が行われ、予算案の総合審査が行われました。 また、3月22日には、予算第一特別委員会が行われ、予算案の議決が行われました。 3月23日には、本会議第6日目が開催され、予算案と追加議案について議決されました。また、教育委員会の教育長に関する人事議案があり、鯉淵教育長の任命が同意されました。</p> <p>2 市教委関係</p> <p>(1) 主な会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3/30 学校管理職等辞令交付式ほか ○4/1 新規採用等教職員辞令交付式 ○4/1 みなとみらい本町小学校開校式 ○4/1、4/2 教育委員会事務局職員辞令交付式 ○4/4 第1回全体校長会議 ○入学式関係

(2) 報告事項

- 日本語支援拠点施設「ひまわり」について
- 横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について
- 横浜市立子安小学校の移転新築について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、3月30日に学校管理職等辞令交付式を保土ヶ谷公会堂で行いました。当日は、退職及び人事異動に伴う辞令交付式と再任用校長任期修了者への感謝状贈呈、そして統括校長の委嘱状交付式が行われています。

4月1日には、新規採用等教職員辞令交付式を横浜文化体育館で行いました。本年度は教職員773名が採用となり、鯉淵教育長より辞令の交付と、訓示を行いました。

また、同4月1日には、みなとみらい本町小学校の開校式が行われ、鯉淵教育長、大場委員、長島委員、中村委員が出席しています。

なお、4月1日と2日には、教育委員会事務局職員の辞令交付式を行っております。

4月4日には、第1回全体校長会議が保土ヶ谷公会堂で行われ、教育長と教育委員から、お一人ずつ御挨拶をいただいております。

次に、入学式関係について御紹介いたします。4月4日に、市立の小学校2校、中学校1校、特別支援学校1校で入学式が行われました。4月5日には、小学校338校、中学校144校、義務教育学校2校、特別支援学校11校、夜間中学校で入学式が行われております。また、4月6日には、市立高等学校9校と横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校で入学式が行われています。

次に、報告事項として、この後、所管課から3点、報告させていただきます。まず、1点目ですが、「日本語支援拠点施設『ひまわり』について」、2点目は、「横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について」、3点目は、「横浜市立子安小学校の移転新築について」、報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

鯉淵教育長

報告が終了いたしました。何か御質問はございますか。

御質問がなければ、「日本語支援拠点施設『ひまわり』について」、所管課から報告をお願いします。

奥田国際教育等担当部長

国際教育等担当部長の奥田でございます。

平成29年9月に開設いたしました日本語支援拠点施設「ひまわり」につきまして、その実施状況について報告させていただきます。詳細につきましては、国際教育課長のほうから説明させていただきます。よろしく申し上げます。

笠原国際教育課長

おはようございます。国際教育課長の笠原でございます。お手元にお配りしております、「日本語支援拠点施設『ひまわり』」という資料を御覧ください。

現在、市内の小中学校に在籍しております外国籍、あるいは外国につながる児童生徒数は年々増加しております。平成29年5月1日現在で9,000人を超えております。そのうち、日本語指導が必要な児童生徒も2,000人を超えまして、これは更に5年前の平成24年度調査と比較いたしまして、900人の増となっております。こういった状況を踏まえまして、昨年9月から日本語支援拠点施設「ひまわり」を稼働しております。本日はその実施状況について報告いたします。

お手元の資料には、大きく3つの項目をお示ししております。1つ目が学校ガ

イダンス、2つ目がプレクラス、3つ目がさくら教室でございます。

まず、上段の学校ガイダンスでございますが、こちらは平成29年、昨年度の8月から実施しております。新たに転、編、入学してきました児童生徒及びその保護者を対象として、日本の学校生活に必要なこと、あるいは保護者の役割等を母語で説明しております。毎週1度実施しております。具体的な実施内容といたしましては、入学手続に関する説明でありますとか、保護者に用意していただく必要のある学用品、あるいはPTA等の簡単な説明も行ってしております。また、これまで各学校で確認を行っていただきました保護者の緊急連絡先、あるいは児童生徒の日本語レベルの確認なども行っていきます。この学校ガイダンスにつきましては、半年間で109組の児童生徒・保護者が参加いたしました。

続きまして、中段のプレクラスでございます。こちら昨年9月から実施しております。帰国、あるいは来日間もない児童生徒が日本の学校に速やかに適応できるよう、集中的な日本語指導と学校生活の体験を行うものです。通級期間といたしましては4週間としておりまして、水、木、金の3日間は「ひまわり」に通います。残りの月、火は所属校に通うというようにしております。これは、これらの全ての支援が所属校で適切な、あるいは豊かな生活を送るための支援でございますので、完全に4週間を学校から取り出すのではなく、月、火は学校に通い、水、木、金はひまわりに通うということで、学校の様々な生活に慣れ、かつ所属校にも親しんでいき、子供たちとも友好的関係が築けるように配慮したものでございます。これらは開設前に校長等から御意見をいただきながら、このような形で行っているところです。

また、プレクラスで指導する内容といたしましては、初期の日本語指導をメインとしておりますが、施設の造りを学校と同じにしておりますので、トイレの使い方ですとか、手洗いの簡単な作法ですとか、あるいはチャイムが鳴ったら席に着くといった、本当に学校生活の基本的なことを覚えてもらうよう、体験プログラムを作っております。プレクラスはこれまでに4週間のものを5期行い、107名の児童生徒が参加しております。

最後に、下段のさくら教室です。こちらは小学校入学予定の新1年生とその保護者を対象として、この3月に2回連続で講座を行いました。新1年生に対しましては、挨拶、あるいは点呼、整列の練習を行ったり、鉛筆やはさみの使い方といった、本当に基礎的なことも教えております。そういった体験プログラムを行いました。また、保護者に対しましては、学校生活に必要なこと、あるいは保護者の役割、書類の記入支援、そういったものを行ってまいりました。参加者の募集は各学校で2月ごろに行います、新1年生の入学説明会で行っていただきまして、3月3日と10日の2回、合計で90組の児童・保護者が参加いたしました。

これらの取り組みの成果でございますが、学校のほうからは、まず子供たちについては、事前の練習や体験により、緊張がほぐれ、子供たち、あるいは先生方との関係を築くのが少し早くなったのではないかと感想をいただいております。また、学校といたしましては、本当に基礎的なことをある程度教わってから子供が入ってきます。それにより、割と学習面を含めて集中した指導に移れるといった感想を校長たちからも聞いております。

私からの報告は以上です。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御質問等がございますか。どうぞ。

長島委員

場所はどうしても1か所、「ひまわり」のみで、横浜市内のかなり遠いところにも当然外国につながる子供たちが多くいると思いますが、その範囲、どのぐら

いの距離から通えていたのか、教えていただけますか。

奥田国際教育
等担当部長

プレクラスですが、小学生は保護者からの送迎をお願いしております。中学生のほうは自分で通える範囲ということで、実績としましては中区、南区、西区のほか、一番遠いところは瀬谷区もございます。これは中学生がお一人で通ってました。また、それ以外に磯子区、神奈川区、鶴見区、都筑区、保土ヶ谷区、緑区、戸塚区、旭区と、思った以上に広範に広がっております。たまたまご兄弟で、上の子が中学生で、下の子が小学生ですと、お兄さんお姉さんが弟妹を連れてきます。そういう意味では磯子のご兄弟などは上の子が連れてくるので、保護者が一緒に来なくて済むということがございました。ただ、やはり小学生だけですと、保護者の負担が大きいこともありまして、遠いところから単体で来られるのは難しいという声は聞いておりますので、できるだけここで培ったノウハウをいろいろな国際教室のほうに伝えることで、学校での受け入れがスムーズになるようにやっていきたいと考えております。

長島委員

ありがとうございます。横浜市内でも東部のほうだけですけれども、順調にしているということだと思っておりますが、今後、将来的にはそのように考えているということですね。分散するようというか。

奥田国際教育
等担当部長

まだ拠点をはじめたばかりですので、最終的に方面別にするというところまで議論を突き詰めておりませんが、まずは拠点でいろいろなノウハウを蓄えて、各国際教室がある学校にそういったものを共有していきたいと思っています。その上で、やはり同じ東部でも鶴見の潮田の子たちが実際に通うのは非常に難しいという声も聞いておりますので、今、日本語教室を実施しております、集中教室のある学校もございますから、そういったところとの連携も考えながら、少し新しい展開を研究していきたいと考えています。

長島委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

鯉淵教育長

ほかにはいかがでしょうか。

中村委員

以前、ポルトガル語を話すお子さんを受け入れたことがあるのですが、日本に来て間もなく、全く日本語が話せなかったものですから、辞書を持ってきて何とか会話しようとしたのですが、1年生だったので、辞書の言葉も分からないということで、担任の先生は非常に苦労されました。それ以上にお子さんですとか、保護者の方の不安感は大きかったと思います。ですから、横浜には半分以上外国籍とか、外国につながる子供がいるという学校もある中で、やはりこういう施設の必要性というのは非常に高まっているのではないかと思います。

もし私の記憶違いだったら申し訳ないのですが、以前見せていただいたときに、指導される先生は皆さん非常勤だと伺ったのですが、それは今も変わらないですか。例えば4月とか、9月ですとか、子供が非常に、一気に増える時期もあるかと思えば、本当に少ない時期もあり、なかなかいつも同じ人数ではないので、それに対応していくのは難しいというお話を伺いました。あと、非常勤の先生方も、とても工夫されて、教材・教具を作られて、感心したのですが、もし体系的な指導を今後続けるということを見ると、やはり非常勤だけではなく、常勤の方を配置することができたらいいなと願っています。また今後考えていただけたらと思います。以上です。

宮内委員

横浜の教育が目指す多様性、異質のリスペクトを実行する象徴として、この「ひまわり」プロジェクトは非常に貴重だと思います。また、日本全国津々浦々で外国人の子供たちが増えてくるという傾向が続くと思います。早いうちからそういった現象が出ている横浜が取り組んでいることが全国の都道府県の参考になるよう実践、研究をしたらと思います。何を研究すればいいかという、今、中村委員がおっしゃったような指導体制です。ボランティアに依存する、非常勤に依存する、また手当も非常に限定的であり、通勤手当が出ているケース、出していないケースといろいろです。そういう行政としてやらなければいけないこと、またノウハウとして蓄積しなければいけないことは福祉に絡むことが散見されるわけですが、そういうことに対する感知力の育成です。これらはノウハウであり、またデータ管理等々の研究をする必要があると思います。

また、言語についても、中国語、タガログ語等々ありますが、これからムスリムの人々も来る可能性があります。その場合、言語だけではなく、いろいろな宗教的制約等々についての知識などもシェアしていかなければいけないなど、大変な課題を抱えた事業です。私が見学するに、講師の人たちが必死になり、生徒が2～3人いる中で2人の生徒補助の方がやっているのですが、こういったことも効率性を考えていかなければいけない。このような難しい仕事をできる人とできない人がいると思いますが、システムチックに教えていくようなカリキュラムの充実ということで、私は全国のモデルケースになるような実験、実践、研究というのを積み重ねるのが横浜の教育委員会の責務とっております。

鯉渕教育長

お願いします。

間野委員

外国籍等児童生徒というのは9,000人、そのうち2,000人は日本語が不自由だということですが、実際に来ているのは100人ですよね。ですから、あと1,900人ぐらいはここに来られていないわけですよね。もちろん人を増やすのも大事なのですが、2020年に向かって今、自動翻訳など、ものすごくテクノロジーが進んできていますので、人海戦術だけではなくて、そういうものの活用が必要ではないかと思います。僕がこの前見たのは、例えば一言言うと、同時に15カ国語で出て、今、技術的には39カ国語まで対応しているとか、そこまで来ていますので、そういうテクノロジーもうまく組み合わせて、来られない人向けにも何か学校の中でできることがあれば、どんどんやっていく必要があるのではないかと思います。以上です。

鯉渕教育長

ありがとうございました。

大場委員

私のほうも、この前拝見させていただいて、教員の皆さんには熱心に取り組んでいただいている、子供たちも気持ちよく授業に応じてくれていたという気がします。先ほど長島委員が言われていて、私も去年の8月からの実績を早くどこかで整理した上で、更なる展開をするのであれば、そのときに、これは私だけの意見ですが、方面事務所もできて、たしか平成22年だったと思うので、8年というか、9年目を迎えるぐらいですから、10年に近くなってきましたし、方面事務所の機能をもう一度点検する中で機能拡大の項目の一つとして、日本語支援拠点というものも捉えてみてもらったらどうかと思います。決して方面事務所の事務室の中に入れるわけではないと思いますが、なるべく横浜市域全体の中で4方面ぐらいうまく拠点ができてくれたらいいなという感じを私は思いました。意見だけです。

宮内委員	<p>先ほど間野委員が言われたeラーニング的なもの、テクノロジーを活用するというは、コストをコントロールしながら効率を上げるという意味で、喫緊の課題だと思います。移民先進国であるアメリカなどでは、英語をうまく教えないと、コミュニティの維持とか、治安の維持とか、いろいろなことで困るわけです。それでまた、好ましくない人たちの勧誘に乗る人なども出てきます。私たちはどうしてもお金に限りがありますから、テクノロジーはコストダウンにものすごく役立つということをぜひ認識していただいて、最先端のベンチャーなりにボランティア活動をしていただく。大学などもいいのではないかと思います。</p>
鯉淵教育長	<p>ありがとうございました。ほかにはよろしいでしょうか。 他に御質問がなければ、「横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について」及び「横浜市立子安小学校の移転新築について」は、所管課が同一のため、まとめて所管課から報告いたします。</p>
水木東部学校教育事務所長	<p>東部学校教育事務所の水木でございます。よろしく申し上げます。4月1日に式典を開催しました横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について、報告をさせていただきます。式典の状況等、詳細については長澤指導主事室長から説明させていただきます。</p>
長澤東部学校教育事務所指導主事室長	<p>おはようございます。東部の指導主事室長でございます長澤です。よろしくお願いたします。</p> <p>お手元の資料、「横浜市立みなとみらい本町小学校の開校について」を御覧ください。1「学校概要」の(1)の経緯でございますが、本町小学校の通学区域内での住宅開発に伴いまして、児童数が増加するために、平成30年4月1日にみなとみらい本町小学校を開校いたしました。なお、同校は、みなとみらい21地区の企業の業務ですとか、商業機能の集積への影響も考慮いたしまして、10年間の暫定施設といたします。</p> <p>(2)「学校施設」でございますが、住所は西区高島一丁目2番3号でございます。電話についてはそちらのとおりでございます。校地面積は1万平方メートルでございます。建物は鉄骨造の4階建てでございます。内訳は、一般の普通教室を17教室用意しております。特別教室は理科室、音楽室、図工室、家庭科室等を用意しております。多目的に使える部屋ということで、多目的室を5室用意しております。これは普通学級への転用も可能でございます。以下、職員室、校長室等の施設を用意しております。児童数・学級数でございますが、そちらに掲載させていただいたのは4月1日付でございますが、昨日正式な児童数がまとまりまして、全校児童は297名でございます。学級数につきましては、一般級が12学級、個別支援学級2学級となっております。教職員につきましては、校長以下28名でございます。</p> <p>2「開校式」でございますが、(1)日時は平成30年4月1日13時30分から開催させていただきました。(2)の開催場所につきましては、同校の体育館でございます。(3)の御出席いただいた方々でございますが、市議員等議員の方、また地域の自治会・町内会関係の方々、関係する学校、幼稚園、保育園の職員の方々、教育長、教育委員の皆様の方、また教育委員会事務局の者が参加しております。また、児童の代表として5年生、6年生にも御参加いただきました。合計で246名の御参加をいただいております。(4)の式次第につきましては、そちらに掲載させていただいたとおりでございますが、教育長から開校宣言をいただきまして、また学校長のほうから式辞、児童代表のお二人からも大変志</p>

のこもったお言葉をいただくことができました。

なお、校歌については、本町小学校の校歌である「学び舎」というものがあるのですが、それと同じ校歌を引き続き歌わせていただくということで、校歌の斉唱もさせていただいております。式の終了後、内覧会も行わせていただいております。

説明は以上でございます。

鯉淵教育長

続けて、子安小学校の移転新築についても説明してください。

長澤東部学校
教育事務所指
導主事室長

恐れ入ります。もう一枚、「横浜市立子安小学校の移転新築について」という資料を御覧ください。

1 「学校概要」の(1)の経緯でございますが、子安小学校の通学区域内で住宅開発が続き、児童数の急激な増加が見込まれることから、抜本的な対策を図るために、近隣の旧日産グラウンド跡地に移転新築することとし、平成30年4月1日に移転いたしました。

(2) 「学校施設」でございますが、横浜市神奈川区新子安一丁目36番1号に設置いたしました。電話番号はそちらのとおりでございます。校地面積は1万5,286平米でございます。鉄筋コンクリート、一部鉄骨造の4階建てでございます。内訳につきましては、一般教室が39教室、特別教室につきましては、理科室3室、音楽室2室、これ以外に図工室や家庭科室、また図書室とコンピューター室を合わせたメディアセンターという部屋、また職員室以下の施設を用意しております。児童数・学級数でございますが、こちらも4月1日付でございます。昨日の集計では、児童、お子様の数が1,027名、学級数につきましては30学級、個別支援学級が5学級の合計35学級でございます。教職員数につきましては、そちらのとおりでございます。

2 「新校舎開校式」でございますが、(1) 日時は平成30年4月4日水曜日の10時から行わせていただきました。(2) 開催場所は同校の体育館でございます。(3) 出席者でございますが、地元の議員の方、自治会・町内会の関係の方、また関係する学校、幼稚園、保育園の職員の方、教育次長、そして教育委員会関係職員、さらに児童代表として6年生の方155名、実際には御欠席があつて154名でしたが、御参加いただいております。合計が最初の推計では190名でしたが、実際には259名の方に御出席いただきました。ありがたいと思っております。

(4) の式次第でございますが、開式のことばから、学校長が新たな校舎の移設について宣言され、またテープカットも行いました。また、6年生の代表児童の方から大変思いのこもったお言葉をいただいております。また、校歌の合唱ということで、子安小学校は大変合唱に力を入れておりまして、すばらしい合唱を聞かせていただくことができました。式の後には同様に内覧会を行わせていただきました。

説明は以上でございます。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御質問はございますか。

間野委員

懸念事項なのですが、子安小学校はまだ工事中ですよ。

水木東部学校
教育事務所長

はい。

間野委員	本当はこんなことがあってはいけないのですが、開校に間に合わず、工事をしながら実際に学校運営を行うわけですので、くれぐれも事故のないようにお願いします。当座の間、グラウンドも使えないわけですよ。
水木東部学校教育事務所長	はい。
間野委員	子供たちが走り回ったり、遊ぶ場所もないわけですから、いろいろなフラストレーションもたまったり、想定外のことが起きるかもしれないので、十分に注意していただきたいということです。以上です。
鯉淵教育長	ありがとうございました。ほかに何かありますか。
長島委員	みなとみらい本町小学校ですが、子供たちが元々いた本町小学校から分かれるということで、昨年度からずっと、子供たちと学校、地域などが一緒に準備されていたかと思います。感想として、4月に向けて本町小学校で丁寧な対応をしたおかげでみなとみらい本町小学校に行く子どもたちも、本町小学校に残る子どもたちも気持ちよく出発できたのではないかと思います。開校式に出席させていただいたのですが、それが代表児童のすばらしいメッセージにつながったのではないかと思います。 10年限定ということで、いずれはまた戻るであろうということを想定しながら、精神的な子供たちの母校に対する思いを育まなくてはいけないのだと思います。10年とはいえ、長いようで短い10年ですので、しっかりずっと支えていただければと心から思います。また戻るときの、そのための準備も必要で、うまくいった分、改めてそこもまた成功させなければいけないということを肝に銘じておくことが大事だと思いました。安全安心とともに、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。
鯉淵教育長	ほかに何かございますか。
中村委員	みなとみらい本町小学校は10年間の暫定施設ということなのですけれども、結局子供の数が非常に増えたということでこのようになったのですが、10年後の見通しはどのように持たれているのでしょうか。10年後は多分児童数が減ってくるだろうという想定ですよ。それは確かですかと今言ってもまた10年後のことなのですが、10年後になってやはり多いとか、そういうことがないよう、きちんとした見通しを持った上での10年間としていただかないと、結局子供が振り回されると非常にかわいそうだと思いますので、その辺は確かなものなのですよという確認をさせてください。
水木東部学校教育事務所長	その辺の見通し、経緯については、学校計画課のほうで補足するということがよろしいでしょうか。
中村委員	はい。
上田施設部長	10年後の見通しですが、平成40年4月に児童数がどれだけになっているか、正確な数字を今出すことは難しいと思いますが、本町小学校に戻れるぐらいに子供の数は減っていくと見込んでおります。今後も児童数の推計や、周辺の開発をよ

く注視して、10年後の対応についてしっかりと考えていきたいと思ひます。

中村委員

ありがとうございます。こればかりはなかなか統計的なものでしか判断できないと思うのですが、ぜひ子供たちが振り回されることのないようにお願いしたいと思ひます。

先ほどの御報告にもありましたが、また新聞等にも子供の写真やお話の中身も出ていましたが、本当にすばらしくて、すごいなと感激しました。建物はできましたけれども、やはり本当に生きた学校にしていくのはこれからですが、この子供たちだったらきつとしっかりとやってくれるのだろうということを確認しましたし、また保護者とか地域の方の応援も大きなものがあるのだろうと思ひました。

ただ1点気になるのは、10年間ということなので、難しいこともあるのではないかとと思うのですが、やはりああいう場所ですから、ぜひ緑化を進めていただきたいと思ひます。周りに高いビルがある中で子供たちは生活していくので、花壇などはこれから順々に学習の中で整備していくと思うのですが、学校の環境として、やはり緑がたくさんあるような環境を整えていただきたいと思ひます。

以上です。

鯉淵教育長

ありがとうございます。
ほかにございますか。

大場委員

子安小学校の旧校舎の建物はまだ建っていると思うのですが、あの敷地も含めて、何かもう計画が固まってきているのですか。ここで言うことではないのですが、トータルで横浜市の財政もそんなに裕福ではありませんから、処分できるものは処分していかなければいけないと思ひます。多分いろいろお考えはあると思うので、今日の段階でもしお話できることがあれば、一つお願いしたいと思ひます。

それから、もう一つは先ほどから言われているみなとみらい本町小学校で、私も5年生と6年生のメッセージ、スピーチを聞いて、すごいなと思ひましたし、横浜にこういう子供がいるのだということを経験し、自分も含めて大人の心もきちんと洗わなければいけないなということを経験し、あときは本当に痛感し、頼もしい子供が発表してくれたということをととても喜びに感じました。みなとみらい本町小学校のほうは感想だけです。

上田施設部長

子安小学校の土地については、今、借地という形でお借りしているような状況になっております。地権者にはこの土地をいつまでも借りるのではなく、旧子安小学校の一部と土地交換することで協議を進めております。ただ、それだけでは足りない部分もありますので、引き続き地権者と協議を進め、できるだけその土地は借りるのではなく、横浜市のものにして、安定的な学校経営ができるように今後も努力していきたいと思ひます。

鯉淵教育長

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、みなとみらい本町小学校の開校と子安小学校の移転新築につきましては、以上で終了いたします。

次に、議事日程に従いまして、審議案件及び報告案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第1号議案「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について」は、議会の審議案件のため、また教委報第1号「教職員の人事に関する臨時代理報告について」は、人事案件のため、非公開と

してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉渕教育長

それでは、教委第1号議案と教委報第1号は、非公開といたします。事務局から、報告をお願いいたします。

山岸総務課長

事務局から、御報告申し上げます。3月30日に、1団体から2018年度の中学校「道徳」教科書採択に関する要望書が提出されました。こちらの要望書につきましては、事務局で対応を調整いたしました上、教育委員会で審議が必要な場合は、次回以降にお諮りしたいと思います。委員の皆様は、内容の御確認をよろしくをお願いいたします。

次回の教育委員会臨時会は、4月20日金曜日の午前10時から開催する予定でございます。また、次回の教育委員会定例会は、5月11日金曜日の午前10時から開催する予定です。

以上でございます。

鯉渕教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は、4月20日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、5月11日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

それでは次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴、また報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第1号議案「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について」
(原案のとおり承認)

教委報第1号「教職員の人事に関する臨時代理報告について」
(原案のとおり承認)

鯉渕教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時05分]